

二宮のママたちによる、
ママたちのための情報誌

Vent

[ヴ ェ ン ト]

Price is Free!

第6号

お店で特典が
受けられる
Happyチケット
についてます！

また会う日まで！

Vent
Bluepop

Blog : <http://ameblo.jp/vent-ninomiya/>
Mail : vent_jimu@yahoo.co.jp

みなさんこんにちは！Vent 編集部から大切なお知らせです。

おかげさまで Vent は 11 月で 2 周年を迎えることになりました。しかし残念ではありますが、ここで Vent を一度休刊することになりました。編集部員の子どもたちの成長や家族構成、ライフスタイルが変化していく中で、これまで通り Vent を製作していくことが難しくなったというのがその理由です。

Vent のスタートは誰もが衝撃を受けた“公園遊具の突然の撤去”的取材でした。そして今でも鮮明に記憶に残る 2 号の病院特集。有名なメディアではない私たちの取材に病院のガードは固く、用語の使用にも厳しくて「あの病院がそう書くならうちも同じ書き方で」とか「実際はそうでも、明記されてしまうのは困る」など、企画自体を断念しようか悩んだほど苦労の連続でした。3 号の習い事特集では調査と校正に細心の注意が必要で、最後まで気が気でなく、その後 4、5、6 号と同じように大変な思いをしながらも楽しく発行し、できあがりの達成感を得られたことは私たちにとって大きな経験となりました。

読者のみなさま、スポンサー協賛者としてご協

力くださった方々、町長や役場の方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。今後いつ再開できるかは分かりませんが、いつかまた皆さんにお会いできる日を楽しみにしています！

発行元の『ママ&キッズに優しい町、二宮を目指す会』がなくなるわけではありませんので、Vent 製作以外の活動はこれまでどおり、あるときは大真面目に、あるときは大笑いしながら、子育ての悩みを打ち明け合い、町の子育て支援について学んだりしていくつもりでいます。またもし Vent を一緒に復活させたいと思ってくださる方がいましたらご連絡お待ちしております。

今後のお知らせやイベント企画などをした場合は、ブログや mixi でご案内していく予定です。

「声をあげよう、町を変えよう」
<http://ameblo.jp/vent-ninomiya/>

それではみなさん、またお会いできるときまで！

「ママ&キッズに優しい町、二宮を目指す会」
Vent 編集部一同



大切な子さんと 心の距離を近づけませんか？

保育園や大学の教員養成の教材に用いられるほど定評のある一色先生のリトミック教室が 4 月生を募集中！ 音楽リズムを取り入れながら集中力や直観力、記憶力、思考力、判断力を養い、知的好奇心を引き出してくれます。歌や音楽はもちろん、びよんびよん跳ねたり、ステップを自転車のハンドルに見立てて空想のお買い物に出かけたり、季節の行事に関する工作をしたりと盛りだくさんの 1 時間。

遊び感覚で学ぶことができ、ママはお子さんの心にグッと近づいた感覚を持てるはずです。募集開始と同時にどんどんクラスがいっぱいになるのも納得！

開催クラス

百合が丘児童館教室
たんぽぽ組 毎週水曜 AM10 ~ 11 時
ひまわり組 每週水曜 AM11 ~ 12 時

西友カルチャー教室
つき組 毎週月曜 AM10 時半 ~ 11 時半

月謝各クラス 4,200 円

問合せ・申込み
0463-73-2064(一色宅)
0463-72-1395(いちごみるく)

中井町より依頼された未就園児向けのお教室も満員盛況。
ますます人気が高まりそうなりトミック教室へ今すぐお問合せください！

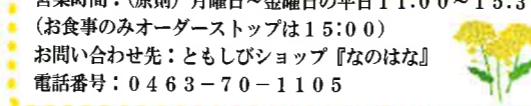
ともしひショップ なのはな

8 月 23 日、二宮町役場となり町民センター 1 階の一角落に、障がいのある人たちが働く場の拠点となることを目的としたカフェレストランがオープンしました。

「笑顔・あたたかさ・ふれあい」をモットーに、来店してくれた方のお腹も心も満たしたいという想いで営業されているそうです。

メニューは、おすすめのビーフカレー(写真)のほか、スパゲティ、ピラフ、チャーハン、牛丼などバラエティに富んでいます。スープとサラダが付いてボリューム満点なのになんとすべて 500 円で食べられるのは驚き！ 食事の他にもケーキやドリンクもあるので小さい子どもを連れたママや、吾妻山を訪れる人たちのちょっとした“オアシス”になるといいですね。

営業時間：(原則) 月曜日～金曜日の平日 11:00 ~ 15:30
(お食事のみオーダーストップは 15:00)
お問い合わせ先：ともしひショップ『なのはな』
電話番号：0463-70-1105



発達のハードルを持つ子供たち Part2

～どんなハードルを持っているの？～

前号で発達障がい児について特集し、クラスに 1 人～2 人という割合でいること、性格や育て方の問題ではなく、脳機能の障がいであることなどをご紹介しました。それをきっかけに『ハードルを持つ子供たち』のことをもっと知りたいと思われた方もいらしたのではないかでしょうか。今号では子どもたちが持つ“ハードル”について少しご紹介します。

参考文献「十人十色なカエルの子」落合みどり著 宮本信也医学解説 東京書籍



ハードルの種類と特徴

AD/HD (注意欠陥 / 多動性障害)

- 我慢が苦手で少しでも嫌なことがあるとその場から飛び出してしまう。物を壊したり、人を叩いてしまう。
- じっと座っていられない。立ち歩いたり、人の話を静かに聞けない。
- 注意力、集中力が散漫で、忘れ物や失くし物をしたりうっかりミスが多い。

など。

広汎性発達障害 (アスペルガー症候群・高機能自閉症・自閉症)

- 人に共感したり、場の状況を読むことが苦手なため、人間関係をうまく作ることができず、集団行動が難しい。
- コミュニケーションがとれず、相手を誤解したり自分が誤解されることが多い。
- 言葉がきちんと喋れても（うまく喋れない場合もある）会話が成り立たなかつたり、意味の取り違えもよくある。
- 特定の物に強いこだわり持つことが多い。
- 先のことを想像できないため、変化を嫌がる傾向がある。

など。

LD(学習障害)

- 知能には大きな問題がなく、次の 6 つの事柄のどれか一つ以上が当てはまる状態をいう。

【聞く】指示の聞き漏らし。
【話す】相手に分かるように話すことができない。
【読む】音読ですぐにつかえる。
【書く】漢字や英語がなかなか身につかない。
【計算】繰り上がりの計算や暗算ができない。
【推論】図形の問題や方向がわからない。

など。

*それぞれの特徴の中には障がいのない子にもしばしばみられますが、障がいを持つ子はその頻度が高く、いくつかの特徴が合併していることがあります。

ハードルを持つ子は 『困った子』ではなく 『困っている子』

上記のような行動をとってしまう子が『困った子』と問題児扱いされてしまうこともあります。けれどその子たちの何人かは障がいのせいで周りとのコミュニケーションが取れずにどうすればよいかわからず『困っている子』なのかもしれません。育児をしていて育てにくさを感じたり、なんとなくこの子は他の子と違うかもと感じたら、まず専門機関などに相談してみると良いでしょう。もしも障がいが見つかっても早期に診断を受けて適切な治療教育(療育)や、アドバイスを受けることで、その子に合った対応ができるようになり、症状も軽減するといわれています。

【相談先】二宮町役場
電話 0463-71-3311

育ちあう子どもたち

発達障がいを抱える子どもたちと過ごすとき、大人はその特性を理解することが重要ですが、子どもにとってはお友だちの一人です。子どもにはとても素直に現実を見つめる力があります。偏見や先入観もなく、ありのままの事を好奇心いっぱいに観察し、自分なりに理解し、吸収していきます。そのときに周りの大人の反応が大きな影響を与えることは言うまでもありませんが、子どもも子どもなりに自分で判断し理解していくのです。

発達障がいを抱える子どもたちは個性的な反応をすることもあるので、子どもが「変だな」と感じたり、驚いたりする場面があるかもしれません。しかしパターン化された行動や反応も多いので、子どもなりに予測がつくようになります。戸惑いが大きすぎるときは大人のガイダンスが必要ですが「〇〇ちゃんはこういうことが怖いんだな」「いやなんだな」「すごく怖いからいっぱい泣いちゃうんだ」「暴れちゃうんだ」と理解できるようになります。

ところで“大人からありのままの姿を受け入れられる”ことが子どもの育ちにはとても大切です。それは結果の評価より子どもの感情や考えを一旦受け止めて、理解を伝えることを大切にした子育てです。例えばお片付けの場面で「片付けなさい」だけではなく「まだ遊びたいよね。面倒な気持ちも分かるよ」などを伝えたうえで促すと素直に応じることが多くなります。

子どもの“ありのまま”に寄り添うことを大切にすると、子どもの心にお友だち(他者)の“そのまんま”的姿をまっすぐに受け入れる器が育ちます。子ども同士がお互いの個性や興味を認め“育て合う”ことで“お互いさま”が当たり前になり、それが一人ひとりの安心につながるのではないかでしょうか。

(保育士・ほりおみゆき)

二宮町の いいところ・好きなところ・改善してほしいところ



いいところ&
好きなところ

改善して
ほしいところ

山あり、海あり自然に囲まれていて、子どもたちにとってとてもすばらしい環境があつて良い。
(5歳と小学3年生の母 ほか複数回答あり)

預かってくれる所が少ないので仕事が始められない。

一時保育、託児所、ファミリーサポート制度がないなど行政の子育て支援制度が遅れているところ。(複数回答あり)

大磯の一時保育までは、車が無いと不便で行かれません。

私的な所は値段も高いので公的サービスをお願いしたい。

お年寄りが多く日中は町中に人目が多い。(1歳10ヶ月のママ)

保健センターがとても不便。
小さい子どもを連れていくのに車で行けない(駐車場が少ない)のは困る。

検診で混雑がひどい。

町の子育てに関するイベントの告知を強化させてほしい。

図書館の子どものコーナーが充実している。

子ども用のトイレがあるのはなおGOOD。(複数回答あり)

図書館で月一回やっているおはなし会は、ただ絵本を朗読するのではなく、ろうそくをつけたり本当に子どもたちのことを考えてやつてくれている。

公立幼稚園がない。

保育園に入りやすい。

幼稚園の選択肢が多い。(はしもとさん)

児童館などが子どものためにまったく機能していない所。

小学生の遊び場がほとんど無い所。

学童保育が自主運営のため保護者の負担(労力)が大きい。(しんまま)

唯一広々と遊べる吾妻山公園の遊具が中々改修されずにいる。

大きな公園が無い。
(複数回答あり)

公園の遊具が少なく、ありきたりで今ひとつ。中央公園のアスレチックや、船の遊具は直して残しておいて欲しかった。

ママがストレス発散できるような場所がない。

小学校の水泳授業は町営プールで年に3回だけで雨だと中止。町に温水プールもあるのになぜ?

オムツをしていても水遊びができる場所があるといいと思う。

山西プールは小さい子用プールが広く、静かで私は好きです。(よしこさん)

小学校にプールが無い。

駅にエレベーターがない。*

町内は起伏が激しいのに歩道の整備が遅れすぎ。
歩道がない所も多いし、あってもガタガタでベビーカーで歩けない。(複数回答あり)

歩道が酷く、いきなり細くなったり凸凹だったり途中で車道になったりする。ベビーカーや自転車だと絶対不便。

子育てサークルが熱心に活動している。

幼児ルーム、いちにのさん、てくてく等様々なサークルがあり子どもが同年代の子とふれあえる。(9.5.2歳のママ)

小児医療費が小学校3年生以降は全額負担になる所。(複数回答あり)

例えば3~6年生まで診察費500円、薬300円など一律設定にしては?こちらとしては中学校まで!と願います。

子育てサロンや図書館など公共の施設が充実してきているところ。

子どもの中学に経験の浅い先生や臨時の先生が多く心配がある。



水遊びができたり、アスレチックや遊具がある所があると良いな。もちろん駐車場代がかからないようにしてほしい。

遊べる公園に遊具が殆どないのが残念。(2.6歳のママ)
ボール遊びのできる公園が少ない。

小さな公園があるが、夏は雑草が伸び使えない場所が多い。



学校が落ち着いており学習環境が良い。

サロンで行われている親子講座が楽しくて好き。(1歳と3歳のママ)

電車を見ることができる子育てサロンがあるので助かっている。

栄通りの子育てサロンの駐車場が有料。(複数回答あり)

児童館やサロンなど、土日に常に開放されている場所がない。**

ラディアン・栄通り子育てサロン以外の施設が古くさい。

無人販売や農協で、季節の野菜や果物を知ることができる。

子どもの参加できるイベントや、子ども向けの施設が少ない。
(複数回答あり)

バスの数がもっと多いと良い。家から最寄りのバス停はコミュニティバスが1日2本しかないので。

でんでんむし、子育てサロンなど集まる場所が自分にあってること。(9.5.2歳のママ)

編集部より

町長とのふれあいトークが年に数回実施されています。このふれあいトークで意見を出したり、Ventでママたちが声をあげたことで、栄通り子育てサロンの間取りや設備そのほかに多くの意見が反映されました。ママたちが日頃考えていることを伝えることで町が変わっていくこともあります。気軽にふれあいトークなどに参加して意見を言つてみましょう!今回アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました!

*アンケートは一部編集しております。

